

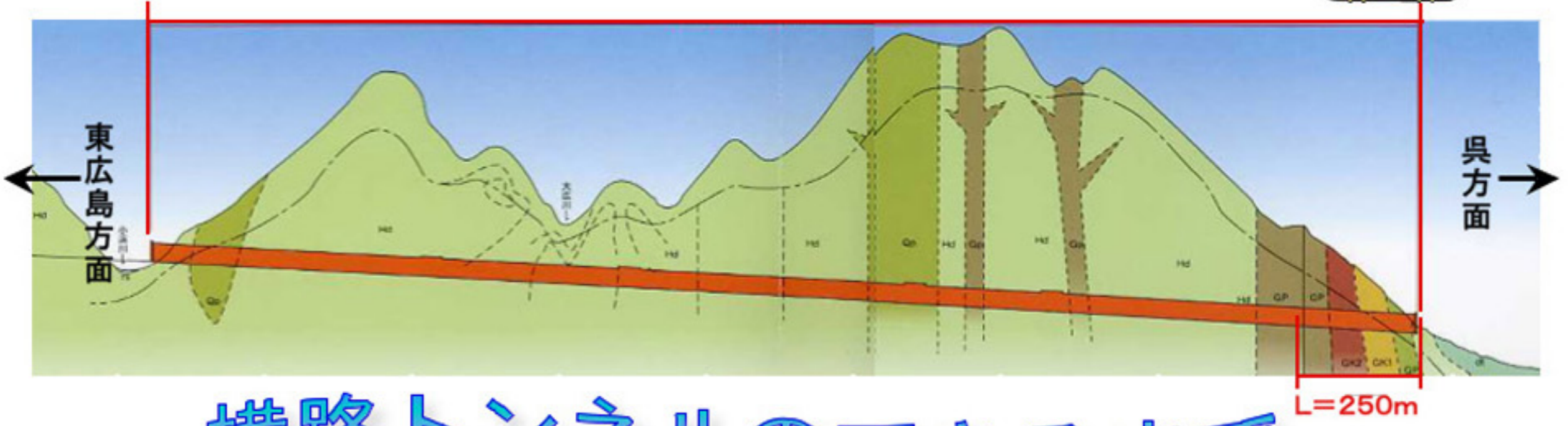


横路トンネル便り



東広島呉道路の横路トンネルは平成16年3月から掘り始め、平成16年7月末現在L=250mのところまで掘り進んでいます。

横路トンネルL=1806m



横路トンネルのできるまで

東広島呉道路(横路トンネル)でのトンネル工事の流れを紹介しましょう。

①準備(仮設備工)

トンネル掘削の前に、工事に必要な設備を設置しました。
※横路トンネルでは周辺環境に配慮し、防音ハウスで設備を囲いました。



②トンネル掘削

トンネルは、硬い岩を掘るため、発破による掘削が一般的ですが、横路トンネルでは、周辺への影響を考慮して、岩を割る機械や特殊な発破方法を採用しました。



⑤吹付コンクリート(2次)

鋼製支保工の周りにコンクリートを吹付け、地山と一体化させ安定させます。

⑥ロックボルト打設

トンネル周辺の地山を安定させるため、鉄筋棒を地山に一定間隔で打ち込みます。



トンネル工事は②から⑥を1~2mの間隔で繰り返しながら掘り進みます。

今後の作業

⑦防水シート張

トンネル内の漏水を防止し、トンネルの耐久性を高めます。

⑧覆工

安全性を高めたり、コンクリート永久構造物として地山を支持する機能があります。

⑨舗装

トンネル内の路面補修は困難なので、アスファルト舗装よりも耐久性に優れたコンクリート舗装が一般的です。

⑩設備工事

トンネル内の空気をよくなるためのジェットファンや照明及び火災報知器、貯水槽などを設置します。

完成!

③吹付コンクリート(1次)

掘削後、早期にコンクリートを吹き付け、地山の緩みを防止します。



④鋼製支保工建込

アーチ型の鋼材を建込み、地山の重さを支えて、トンネル空間を確保します。

8月1日(日)~8月31日(火)は、「道路ふれあい月間」です。

8月10日は「道の日」

皆さんは、「道の日」という日があるのを知っていますか？

大正9年 8月10日は、我が国で最初の道路整備についての長期計画である、第一次道路改良計画が実施された日です。

このことを記念して、また、道路の意義・重要性に対する国民の関心と、道路愛護の精神を高めるために、昭和61年に「道の日」が制定されました。

この機会に、身近な道路に目を向け、夢のある豊かな暮らしのために、道に関心を持ちましょう。



ありがとう
今日も明日も
歩く道

